



へご挨拶

新藤信夫

梅の季節を過ぎて、桜の季節となりました。50年程前まで桜は、入学式で満開の中を新入生を迎える様子が見られたのですが、最近では、満開の中で卒業式で送る様子が定着し、この50年間で2週間以上も春が早まっています。このまま季節が進むと夏の暑さが今年も心配されます。

令和6年2月議会は2月6日から3月14日までの38日間にわたって開会し、活発な議案審査がされました。2月議会は予算議会で、実質12日間に集中して令和6年度の一般会計、特別会計、企業会計予算の全会計で約1兆1,816億円を審査し、何点かの問題点はあったものの全ての予算案を可決しました。重要懸案事項としては地下鉄7号線岩槻延伸の事業実施申請の延期、認知症対策、少子化対策、子育て支援、地球温暖化対策などがありますが、いずれも長期の対応が必要となります。市議会は、今年度も当初予算に従い事業の成果確認をしっかりと行って参ります。



新藤義孝経済再生担当大臣に税制改正要望を提出

令和6年度予算可決

今議会においては、来年度予算について活発な議論がされて来ました。3月15日の2月議会最終日に可決成立しました。

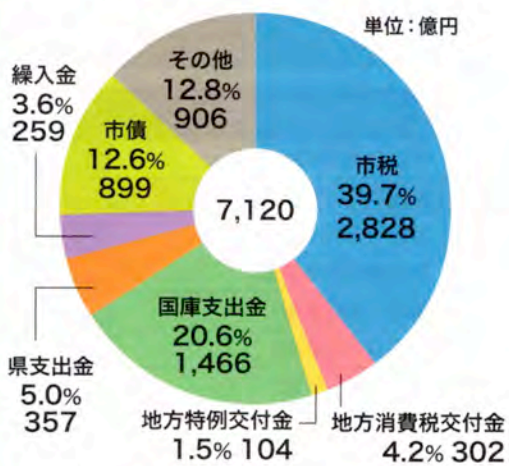
令和6年度予算は、一般会計で約7,120億円、令和5年当初予算比約430億円の増額、特別会計と企業会計を加えた全会計で約1兆1,816億円、約528億円の増額となりました。

一般会計の主な特徴としては、歳入においては定額減税による個人市民税の減収が生じたものの、特例交付金や普通建設事業の増に伴う、国庫、県支出金と市債で賄うこととなりました。

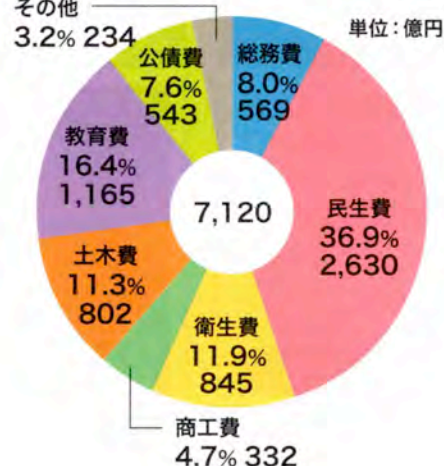
歳出は職員給与の引上げ、定年引上げに伴う退職手当の増加、障害者自立支援、特定教育、保育施設等運営事業等の扶助費の増加、サーマルエネルギーセンター建設工事による支出増が挙げられます。

このように、国・県からの支出金や市債の発行などにより、歳入の増加は図られたものの、人件費や扶助費、市債(市の借入金)が増加したことにより、財政調整基金(市の貯金)から繰入れを増し、また、一般会計物価高対策として非課税世帯等への給付金や防災・減災の推進など迅速かつ切れ目なく実施するため、令和5年度12月補正予算から令和6年度予算に渡る16ヶ月予算として、12月、2月補正において約235億円をすでに計上しており、当初予算(約7,120億円)を加えた約7,355億円を計上し、すでに一部施行しています。

歳入(一般会計)



歳出(一般会計)



一般会計、全会計予算総額ともに過去最大の予算規模

会計種別	予算総額(億円)	前年度比(増減)	前年度比(増減率)
一般会計	7,120	+430億円	+6.4%
特別会計	3,355	+110億円	+3.4%
企業会計	1,342	▲13億円	▲0.9%
全会計	1兆1,816	+528億円	+4.7%

※全会計及び対前年度増減は、千円単位の額で算出しているため、表中(億円単位)の額で算出した数値と一致しない場合があります。

主な予算の特徴

子育て支援

- 安心して子育てできる環境作りの推進として、高校3年生までの医療費を無償化する。(令和6年10月から)
- 学童保育の待機児童解消のため放課後子ども居場所事業をモデル校4校で開始する。
- 保育所や幼稚園で一定時間まで利用可能にする子ども誰でも通園制度を24施設で試行的に実施する。

地域経済

- デジタル地域通貨を含む統合型市民アプリを導入して3%のポイントを通年で還元する。

健康福祉

- 認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう認知症フレンドリーまちづくりセンターを設置し支援を行う。
- 新型コロナウイルスワクチン接種を定期化して、秋冬に一回実施する。

生活安全・環境

- 道路交通法改正に努力義務となった自転車利用者のヘルメット着用率向上のため、啓発に取り組む。
- 事故のおこりやすい場所への交通安全施設の設置を推進する。
- サーマルエネルギーセンター(見沼区)の2025年(令和7年)供用開始をめざして工事を推進する。
- カーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギー導入拡大を図り、市内焼却場で発電した電気を公共施設に送電するシステムを構築する。

まちづくり

- 沼影市民プール跡地への義務教育学校設置に伴って代替レジャープールの新設を検討する。

文化・スポーツ

- 令和7年に100周年を迎える大宮盆栽村の記念事業と大宮盆栽振興ビジョンを策定する。また、大宮盆栽美術館の庭園リニューアルを実施する。
- サッカーのまちづくりを推進する。

代表質問

Q 武蔵一宮氷川神社が令和10年に創建2500年を迎えるに当たり、文化財保全、表参道を活用したまちづくり、緑地の環境保全などで関係の深いさいたま市は何ができるのか。

A 本市としては、氷川神社一帯の4つの遺跡や氷川参道の並木のほか、多分野にわたるたいへん貴重な指定文化財を大事な歴史文化遺産と認識しており、後世に引き継いでいけるよう努めている。令和10年には、先の特別展の成果を踏まえ、市立博物館において、遺跡から発掘された古代の楽器、口琴などの出土資料や古文書、指定文化財などを一堂で紹介する展示の開催の検討を進めていく。これが地域の歴史を学ぶ良い機会となり、良好なコミュニティ形成の一助になると考えている。そして、本市の歴史文化の資源を次世代に確実に伝えられるよう努めていく。

Q 大宮駅GCS構想について、大幅に遅れることを危惧。現在の状況、コミュニケーションの強化によってスピードを上げるための見解、今後の予定について伺う。

A 大宮駅東口駅前広場の都市計画手続きにあたっては、各種都市施設と関連する街区の再開発事業の都市計画手続きを同時に進めて行く。現在は、関連する街区の再開発事業との施設計画の調整を権利者と行っている。一方、都市計画素案に対して、関係者からは様々な御意見を頂戴しており、合意形成を促進することでスピード感を持った事業推進に取り組むとともに街区間での連携を図り、大宮駅周辺の魅力をエリア全体で高めていくことを期待している。今後の予定としては、令和6年度中にコンセプトの共有を図り、まちづくりのルールであるガイドラインを取りまとめ、大宮GCSプランの更新とともに各準備組合での合意ができれば、速やかに都市計画の手続きに着手したいと考えている。

Q 地球温暖化対策実行計画の改訂に当たり、新技術への支援・普及、森林などによるCO2吸収量の増加、電力の地域間連携、環境教育の充実などについて市の考えを伺う。

A 今後の電気自動車の普及を踏まえ、さらなる充電インフラ整備は不可欠と考える。コージェネレーション発電、熱供給は重要なシステムと位置づけており、また、見沼田圃では緑地を保全するとともに、温室効果ガス吸収源とする植生の可能性調査を行いカーボンニュートラルに貢献する活用を検討していく。再生可能エネルギー由来電力の他地域からの融通については調査を実施している。また、市内の焼却場で発電した電気を市内の公共施設に送電するシステムも構築し有効活用を図る。環境教育については、子どもたちと保護者のさらなる意識向上に向けた取組を推進する。

Q 市として順天堂に対し、期待する地域貢献は何か伺いたい。また、いつまでに貸付条件を判断する必要があるのか伺いたい。

A 現在、学校法人順天堂において、地域貢献の内容について、具体的な検討を行っていたきながら、本市の関係所管課とも協議を重ねている。特に、浦和美園地域は、「スポーツ、健康、環境・エネルギー」をテーマに掲げたまちづくりを進めていて、このテーマに即した分野で、地域貢献策を提案していただきたいと考えている。令和7年4月に工事着工が予定されており、遅くとも工事着工前には、土地の貸付契約が必要になるものと認識している。本事業は、埼玉県病院誘致事業であることから、埼玉県の整備費補助や土地貸付の判断時期を踏まえ、市としても判断を行っていくこととしている。



順天堂大学病院美園病棟俯瞰図
(令和5年度第2回埼玉県医療審議会資料より)

地下鉄7号線の延伸延期

地下鉄7号線の岩槻延伸は令和5年度中の事業実施申請を行う方針であったが、概算工事費の試算が1,300億円に増大したことから工期が大幅に伸びることが明らかとなった。建設費や工期の再検討を行うことから、実質的な事業の延期となった。



地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸概要図

桜木駐車場周辺の都市計画道路計画

桜木駐車場周辺には桜木大成1号線と桜木大成2号線の2本の都市計画道路が計画されており、令和6年度中の事業認可、令和8年からの用地買収を目指している。



大宮西口第5工区内の都市計画道路(予定)

省エネ家電買換え促進キャンペーン

さいたま市では、エネルギー価格の高騰に伴う電気料金の負担軽減及び家庭における温室効果ガス排出量の削減の推進を目的として、今お使いの家電を省エネ家電に買換えた市民の方を対象にキャッシュレスポイント等を還元する「さいたま市省エネ家電買換え促進キャンペーン」を実施します。

対象の省エネ家電に買換えて
キャッシュレスポイント等最大70,000円還元

対象品目	省エネ性能	補助率	上限額	申請回数
エアコン	省エネ性能★3以上	1/2	70,000円	1人各1台まで
冷蔵庫	省エネ性能★3以上	1/2	70,000円	
テレビ	省エネ性能★3以上	1/2	70,000円	
LED照明器具	省エネ性能★4以上	1/2	70,000円	1人2台まで

※キャンペーン開始前に購入した機器は対象外となります。
※ポイント等申請を希望される方は、キャンペーン開始以降に機器を購入いただくようお願いいたします。
詳しくはさいたま市のホームページかコールセンターにお問い合わせください。

コールセンター TEL 048-829-1111

※対象購入期間は令和6年3月22日から令和6年9月30日までに購入されたものが対象となります。但し、期限を待たず予算上限に達した場合は、その時点で終了となります。

2024年 住みたい街ランキング

2024年順位	2023年順位	2022年順位	駅名(代表的な沿線名)	2024年得点
1位	1位	1位	横浜(JR京浜東北線)	1683
2位	3位	3位	大宮(JR京浜東北線)	1054
3位	2位	2位	吉祥寺(JR中央線)	996
4位	4位	4位	恵比寿(JR山手線)	952
5位	5位	7位	新宿(JR山手線)	777
6位	6位	6位	目黒(JR山手線)	690
7位	7位	9位	池袋(JR山手線)	666
8位	11位	8位	品川(JR山手線)	634
9位	9位	13位	東京(JR山手線)	619
10位	12位	5位	浦和(JR京浜東北線)	602
21位	22位	17位	さいたま新都心(JR京浜東北線)	409

リクルート[首都圏]住みたい街(駅)ランキング

今年もリクルートから首都圏版「住みたい街ランキング」が発表になった。結果は上表のとおり、1位は7年連続トップの横浜、そして2位は予想どおり大宮が去年の3位から浮上、得点も1000点を超えました。浦和も10位に入り、さいたま新都心も21位と健闘している。

大宮の人気は交通利便性の高さだろう。新幹線は全て停車し、近隣都市への在来線への乗り換えも利便性が高い。もう一つはさいたま市の小中学校の学力の高さが学童を持つ若い親に魅力感じさせているのではないだろうか。